

あじさい 135号

平成30年度定期総会が開催されました！



6月30日、平成30年度定期総会が開催され、約340名が出席しました。事業報告や会計報告の後、4月にオープンした「育成会生活支援センター」や「ライフ西北」の報告があり、最後に「うちの事業所自慢」というテーマで各事業所の本人さんたちが発表されました。



事業所の自慢や事業所への要望を発表する陽香里工房のみなさん。チームワークよく発表されました。



お菓子や手芸品、花の苗などの事業所製品の販売も行われ、大勢の人で賑わっていました。

「長崎よかよか隊」出動！



もくじ

- 平成30年度定期総会
- 育成会 ing
- 初出動！！
「長崎よかよか隊」
- 定例会発
お金との付き合い方
- おしらせ

長崎市育成会のキャラバン隊「長崎よかよか隊」が初出動！障害者や障害への理解を広めるための3つのプログラムを披露してきました。

30年度定期総会開催

6月30日(土) 13:30より原爆資料館にて、「進化する育成会～第4次育成会地域福祉5か年計画の始動～」というテーマで平成30年度定期総会が開催され、約340名の本人や会員、職員が参加しました。



この4月、長崎市大橋町に育成会生活支援センターを開設しました。1階に本部事務局(啓発事業部含む)、相談支援事業所いんくる、グループホーム支援センター、ヘルパーステーション、ケアプランセンター、またさんらいずの就労移行支援事業の利用者さんも移転してきました。続いて2階には夢工房みどりが移転してきて5月1日から活動を始めました。また、3月末に長崎市西北町に11棟目のグループホーム(ワンルームマンション形式)が完成し、4月からスタートし、この平成30年は長崎市手をつなぐ育成会にとって、新しい取り組みが一斉に始まった記念すべき年となりました。

平成30年度4月より、長崎市手をつなぐ育成会第4次地域福祉5か年計画が始まり、「本人を中心に置いたインクルーシブ地域生活」の益々の前進を目指して、意義ある事業の形を作り出していきます。内容はホームページに掲載しています。

当会は、来年平成31年に創立60周年を迎えます。大きな記念式典はせずに、平成31年の1年間を「アニバーサリーイヤー」として、「手をつないで60年、新しい時を見つめて。これからもずっと」というテーマで、来年1月の新年親子の集いを皮切りに、年間を通して様々な記念行事をやっていきます。皆さまもご意見をお寄せください。

理事長あいさつより

寺田事務局長より今年5月に創設された「育成会生活支援センター」の説明がありました。

『建物の老朽化と立地に不便があった夢工房みどりの移転先として、また、長崎市中心部の賃貸事務所を集約して育成会業務の効率化と利便性を追求するために、大橋町に「育成会生活支援センター」をオープンいたしました。

利用者、家族を支え、会員、職員、地域、関係機関との連携を深め、育成会が運営する事業、会員活動、また第4次育成会地域福祉5か年計画を推進する中心拠点となっていきます。』



寺田事務局長



長島所長

次に今年4月にオープンしたグループホーム「ライフ西北」について、長島所長より説明がありました。

『男女それぞれ3名づつ、計6名の方々が新生活をスタートされました。ワンルームマンション形式(キッチン・トイレ・浴室付き)ではありますが、食事の提供や通院、金銭管理、余暇活動、権利擁護の援助まで、常駐の世話人さんから必要な支援を受けられます。短期入所もできますのでご利用ください。』

続いて、入居者の中村規良々さん(さんらいず)と吉田純一郎さん(ワークあじさい)が感想を話されました。

吉田純一郎さん

「グループホーム城山台から引越してきました。今までは持病が心配で一人暮らしに踏み切れなかったのですが、西北では緊急ボタンの設置や夜間の見回りもしてもらえて安心です。」



中村規良々さん

「新築なので掃除を心掛けています。」

「ライフ西北」には男女1名ずつ世話人がいます。

うちの事業所自慢!

各事業所の利用者の皆さんが、それぞれの事業所自慢や事業所への要望を発表

されました。各事業所での様子や職員さんとの関係性がとてもよく分かる発表でした。また、みなさんの要望にはそれぞれの施設長が丁寧に返答されていました。



陽香里工場の自慢

「キーボードがある」「トイレ掃除が好きになる」「イケメン支援員がいる！」
生活介護は「カラオケができる」「給食がおいしい」でした。また、希望として「自動販売機・売店が欲しい」「工賃アップして！」などがありました。

さんらいずの自慢

「毎日お菓子のいいにおいがします!」「優しくて明るい支援員がいます!」
「狭い」「もっと工賃が欲しい」「土曜日は休みたい」などの希望も上がりました。



あじさいの家の自慢

「調理実習、運動などいろいろな活動がある」
「毎週金曜日の「ゆとり」の活動!」「風呂が広い」
「給食がおいしい(毎週木曜日はバイキング)」
欲しいものは「温泉」「体育館」「昼寝の時間」などたくさんの希望が上がりました。



ワークあじさいの自慢

「全職員が親切にアドバイスしてくれる」
「楽しく元気に通える」「仕事が楽しい」
要望は「トラブルを無くす仕組みを考えて!」と深い内容でした。





夢工房みどりのいいところベスト5

「野菜の皮むきが上手になる」「トレーニングができる」「エレベーターがある プールに行ける」「消防署や警察署が近くで安心」

要望は「(職員に) もっと話を聞いてほしい」「ボーナスをもっと欲しい」「自分を知ってほしい」など



「陽香里工房」山田施設長

「自動販売機や売店がほしい」との要望ですが、そのためにはお金が必要なので、みなさん陽香里の製品をたくさん買ってください。



「あじさいの家」大平施設長

「作業室やトイレ等広くしてほしい。温泉がほしい」との要望には応えることはできませんが、研修旅行では絶対温泉に行きます。



「さんらいず」田坂施設長

「建物が狭い」ので、お金を貯めて増築するために頑張って通ってください。「土曜日休みみたい」とのことですが、ほとんどに行事を入れて営業します。

「ワークあじさい」藤原施設長

「みんなでいっしょにトラブルをなくす仕組みを考えて考えていきましょう。」



「夢工房みどり」山田施設長

「もっと自分のことを職員に知ってほしい」との要望には支援員の力不足を感じました。努力します。



今年も本人発表をたくさん取り入れてあり、退屈しない内容で3時間があっという間に過ぎ去ったように感じた方も多かったのではないのでしょうか。時間の都合でお一人の質問にしか答えられなかったのは残念でしたが、来年もさらにたくさんの方に来ていただけるような内容にしたいと思います。

【総会全体について】

総会アンケートより

みんなの声

- ・本人さんの発表の後の施設長さんの回答もユーモアがあって良かった。
- ・各事業所皆さん頑張っていると思うのですが、要望も沢山ありビックリした。それらに丁寧に回答されていると思った。
- ・グループホームライフ西北に入居されている方々の発表は考えさせられた。やはり自分の子どもと重なり、入居されている方がしっかり自分の生活ができていてちょっと涙が出た。そして支援さえている方に感謝！！と感じた。全体的に有意義な会であったように思った。
- ・本当に久しぶりに参加しました。終わる時間が遅いので眠くなるのではと心配していたが、内容が盛り沢山で全く眠くなることもなく、わかりやすかった。
- ・事業所紹介で利用者本人たちに発表させる取り組みは本当に良かった。
- ・利用者には時間的に少し辛いかなといつも思う。年に一回の重要な場であることは変わらないが。

【育成会へのご意見・ご要望】

- ・南部の方にこれから施設等増やして欲しい。
- ・「支援スタッフの応募が少なく、スタッフ不足の為あじさいの家職員の応援が必要」と会報誌の30ページにあるのを見て、ご苦労のほどを推察しました。

育成会 ing

この時期は育成会にとって決算や監査そして理事会等で一番忙しい時期です。

そんな中、啓発事業部ではキャラバン隊の初出動に向け、会員さんがそれらの準備に余念がありませんでした。私も1～2度参加させていただきましたが、我が子の困り感を探り社会にどういう形で発信していくのかを熱心にミーティングを重ねてくださっており、親なればこそその細やかな気づきや家族ならではのシビアな視点も是非発信して欲しいと感じておりました。そして7月24日に初出動となったのですが、会員さんたちの多少緊張された横顔が誇らしく感じられ、そのエネルギーに心から感謝しました。これからも益々キャラバン隊の活動が広がっていくことを心より祈っております。

(理事長 谷 美絵)

キャラバン隊についての記事は6ページに掲載しております。



ご紹介

『福祉合同ガイダンス』

長崎市育成会が毎年参加している福祉合同ガイダンスに今年も参加します。

これは長崎地区および県内の特別支援学校の児童・生徒、保護者、職員や福祉サービス事業所職員、相談支援事業所職員などを対象に、県内の障害福祉サービスの事業所が参加し事業の紹介を行うものです。育成会の「ワークあじさい」「あじさいの家」「夢工房みどり」「さんらいず」「陽香里工房」とタイムケア・啓発・グループホームの代表が出席し、事業所や事業のPRを行う予定です。

と き：8月17日（金）10：00～13：00（9：30受付開始）

ところ：県立鶴南特別支援学校 D棟多目的室

『特別支援教育公開セミナー』

特別支援教育の充実を図るため長崎大学教育学部と附属特別支援学校が開催しているセミナーをご紹介します。今年は長崎市障害福祉センター診療所長松崎淳子氏による『発達症のある子どもたちの育ちの支援』、長崎大学教育学部人間発達講座准教授 石川衣紀氏による『スウェーデンの病院における子どものQOL保障』、そして全日本手をつなぐ育成会で理事や権利擁護委員を務められた毎日新聞社論説委員の野沢和弘氏による『よりよい支援のために～障害児・者の人権～』の3つの講演が予定されています。

と き：8月23日（木）11：30～17：00

ところ：長崎大学中部講堂

※お問い合わせ、お申し込みは

長崎大学教育学部附属特別支援学校 ☎095-845-5677まで

「長崎よかよか隊」デビュー

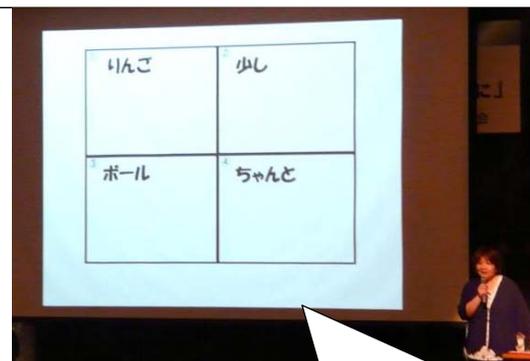
発達障害、自閉症を含む知的障害者やその障害特性について広く知ってもらうための啓発活動を行うキャラバン隊「長崎よかよか隊」が、7月24日に原爆資料館ホールで開催された小中学校の教職員を対象にした教育研修会（長崎市心身障害者団体連合会主催）でデビューしました。

この日は10名の隊員が出動し、分きたいのに分からない、伝えたいのに伝わらないもどかしさを体験する「ゲナ帝国」、抽象的な言葉は伝わりにくいということを体験する「絵に描いてみよう」、そして自閉症や発達障害を含む知的障害のある人たちの生きづらさを知ってもらう「Aくんのいちにち」という3つのプログラムを体験してもらいました。

会場の方に協力していただく「ゲナ帝国」では、女王の「紙袋の中の扇子を持って来て」という指令をゲナ語だけで伝えてもらいました。体験された方は何をやらされるか見通しの立たない不安や何を言われているのかわからないらだちを感想として述べられていました。また、「絵に描いてみよう」では抽象的なものは絵に描きにくいという体験から、分かりやすく伝える大切さを感じていただけたようでした。



「げなげな」としか話せない惑星ゲナで、「げな」という言葉だけで女王の命令を伝えなくてはなりません。会場から指名されたAさんとBさんの間で「げなげな」「？」というやり取りが繰り返されました。



「りんご」「少し」「ボール」「ちゃんと」を絵にしてもらいました。みなさん「少し」や「ちゃんと」には苦戦されていましたが、コップやスプーンにはいった少量のもので「少し」を表現されたり、まっすぐな線、きれいに並んだ靴などで「ちゃんと」を表現した方もいらっしゃいました。

アンケートより

参加者の多くが学校の先生ということもあり、強い関心を持っていただいたようです。

- ・分かりやすかった。支援学級の保護者にも見てほしい。
- ・今後の関わり方にも活かしていきたい。
- ・「理解したい」という気持ちを忘れずに思いやりを持って接したいと思った。
- ・もっと多くの人、教職員に観てほしいと思った。
- ・障害のある人が「どうせ分かってもらえない」と諦めたり悲しい思いをしているとは思わなかった。勉強になった。
- ・周囲の理解を深めることを狙っていろいろ取り組んでいる。今回の研修がとても参考になった。
- ・当事者の身になって気持ちを考えていこうと思った。
- ・障害があることがどれほどの困り感があるかイメージしやすかった。
- ・疑似体験することでさらに深く理解できた。

緊張の中の初舞台でしたが、無事に終わることができました。回収したアンケートには励みになる言葉もあり、今後理解を広めるためにもっと頑張ろうという力をいただきました。

定例会発!

「お金との上手な付き合い方」



『親なきあと』は親あるうちに』と言います。わが子の将来にどれくらい必要なのか、どんな形で遺しておけばいいのか、障害のある子の親であればだれもが不安に感じていることではないでしょうか。

育成会では8月に「お金との上手な付き合い方」セミナーを予定しており、「どうやって貯める?」「障害のある子にどうやって遺す?」「障害のある子の保険は?」などの内容で、多方面でご活躍中のファイナンシャルプランナーの方(育成会会員)にお話をお聞きする予定です。7月の定例会はその予習として「親亡き後のお金のこと」というテーマで定例会を開きました。参加者17人と、いつもより少し多めのにぎやかな定例会となり、関心の高さがうかがえました。



全国手をつなぐ育成会連合会の会報「手をつなぐ」を読みながら親亡き後の生活費を事例で考えました。遺産がないケースでは生活保護を申請したり、本人が頑張ってA型に就労し工賃を増やすなどすることで安定した生活が送れるようになった事例があり、「少し安心した。」という声が上がりました。また遺産が多いケースではその管理の方法として成年後見制度やそれよりやや使い勝手がいいとされる民事信託の制度が紹介されていました。約半数の方が子ども将来のために、何らかの方法で預金をしていましたが、ほとんどの方はわが子が自分で金銭管理をしていくことは難しいと感じていらっやいました。また、「親亡き後では遅すぎる」と危惧感を持つ方、「今まで避けていた部分なので、真剣に取り組まなければならないと思った」、「親は自分の子どもだから何にお金が必要か分かっているが、親が出来なくなった時の事を考えて誰にでも分かるようにしておく事が必要だと思った」など、たくさんの意見や発見がありました。



また、「一生懸命に働いた工賃なので、自分の楽しみに使ってもいいが、生活にお金が必要ということを知ることがこれからの課題」という方や、「最近本人が年金のことを知って、そのお金がどこにどのように保管されているのか気になるようになった」という方もいらっやいました。お金の管理に使える制度と仕組みでは、「知らないことがたくさんあり自分の知識の引き出しが増えました」などの感想がありました。



「お金との上手な付き合い方」セミナー開催!!
 ~「かしこく」貯めて「あんしん」して残すために~
8月3日(金) 10:00~12:00
ハートセンター5F 社会適応訓練室
 ●わが家のライフプラン
 ●どれくらい貯めたらいいの?
 ●障害のある子にどうやって残す?
 ●障害があっても保険に入れる?

お申し込みは
タイムケア事務局
☎845-5677まで
ぜひご参加ください。

おしらせ



社会福祉法人
長崎市手をつなぐ育成会 広報部
長崎市大橋町 19-19
文教カテリーナ1F
Tel:095-845-5677
E-mail:tewotunagu@hi.enjoy.ne.jp

習字



日時:第4土曜日
時間:午後1時~
場所:ハートセンター社会適応訓練室
会費:1回 500円

8月11日のフラワーアレンジメントはお休みです。

フラワーアレンジメント



日時:第2・第4土曜日 午前10:30~
場所:ハートセンター5F 社会適応訓練室 会費:1回1300円

おたのしみクラブ

日時:8月19日(日)13時~15時 日時:9月9日(日)
内容:絵手紙(材料代100円翌月請求) 内容:軽スポーツ
*9月より材料代はいただきず参加費300円をいただくこととなります。
*今年度より人数把握のためにお申し込みをお願いします。お申し込み・お問い合わせは
ハートセンター事務局まで。 Tel:847-1290
*計画は変更されることがありますので確認をしてから参加してください。



会員定例会

8月の定例会 8月 10日(金) 10:00~12:00
*「親心の記録記入 パート②」 ハートセンター5F 社会適応訓練室
9月の定例会 9月 10日(月) 13:00~15:00

平成30年度 第43回育成会運動会

と き:9月15日(土)9:30~15:30
場所:県立体育館(アリーナかぶとがに) 油木町7-1 ☎095-843-6521
お申込み、お問い合わせはハートセンター事務局へ: ☎ 847-1290
申し込みの締め切りは8月27日(月)まで!!



年会費の振り込みについて

平成30年度年会費、賛助会費の振り込みは下記の口座へお願いします。
親和銀行浦上支店 普通 1248638
口座名義 社会福祉法人長崎市手をつなぐ育成会 理事長 谷 美絵